



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ

上場取引所 東

コード番号 1384 URL <https://www.hokuryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 米山 大介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 松岡 昌哉

TEL 011-812-1131

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,198		618		655		452	
2022年3月期第2四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	53.50	
2022年3月期第2四半期		

1. 2022年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、2022年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2022年3月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	16,161	10,479	64.8
2022年3月期	15,549	10,154	65.3

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 10,479百万円 2022年3月期 10,154百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		15.00	15.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,849	9.7	1,060	20.7	1,124	19.3	827	30.5	97.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,459,000 株	2022年3月期	8,459,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	48 株	2022年3月期	48 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	8,458,952 株	2022年3月期2Q	8,458,952 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は2021年10月1日付で当社の完全子会社であった株式会社第一ポトリーフームを吸収合併（簡易合併・略式合併）したことに伴い、前第2四半期連結累計期間までは連結決算でありましたが、前第3四半期累計期間より非連結決算へ移行いたしました。上記により前第3四半期累計期間より連結財務諸表を作成していないため、比較分析は行っておりません。

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期における日本経済には、出口が見えないロシア軍によるウクライナ侵攻がもたらした世界的な食料、原材料、エネルギー価格の高騰、春先に一旦落ち着きを見せたオミクロン株感染の夏に向けての再拡大、米国金利引き上げがもたらした急激な円安が重くのしかかりました。世界的な燃料、原料相場の高騰と円安により企業物価指数は今年に入り前年同月比9%を超える上昇が続いていますが、消費者物価指数も4月以降前年同月比2.5%を超えて上昇、このため実質賃金は4月以降8月まで5か月連続で前年同月比マイナスとなり、消費者の節約志向はより強くなってきました。

鶏卵相場は、昨年後半より低迷していた本州の鶏卵相場が高騰している飼料価格を背景とした採卵鶏羽数調整により9月以降ようやく上昇局面に入りました。一方道内においては4月以降の堅調な相場が9月末まで続き、この結果第2四半期（2022年4月1日～2022年9月30日）における鶏卵相場の北海道Mサイズ平均は1キロ252円（前年同四半期比8円22銭高）、東京Mサイズ平均は1キロ212円34銭（同26円22銭安）となりました。

鶏卵生産コストの6割を占める飼料価格は主原料たるトウモロコシ相場の高止まりに円安が加わり、第2四半期も1トン1万1千円を超える値上げとなり、これで3四半期連続の値上げとなっております。

当社は飼料価格、原材料価格、物流費の高騰に対処するため引き続き付加価値卵の拡売、鶏卵販売価格の改定に注力しました。この結果、売上高は8,198百万円となり、営業利益は618百万円、経常利益は655百万円、四半期純利益は452百万円となりました。

なお、ロシア軍によるウクライナ侵攻は長期化の様相を呈しており、これに伴う世界的なインフレ傾向と円安にも歯止めがかかっておりません。さらに10月以降日本国内6か所の養鶏場で鳥インフルエンザの感染が確認され、今後の感染拡大が懸念されます。これらの情勢及び新型コロナウイルスの状況などの今後の経緯によっては当社の経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産

当第2四半期会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べて612百万円増加し16,161百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて552百万円増加し4,400百万円となりました。これは、主として現金及び預金が350百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が235百万円、その他が630百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて59百万円増加し11,761百万円となりました。これは、主として有形固定資産の建物が428百万円、機械及び装置が452百万円増加した一方で、有形固定資産のその他が618百万円、投資その他の資産が262百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

#### ②負債

当第2四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べて287百万円増加し5,682百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べて522百万円増加し3,930百万円となりました。これは、主として買掛金が314百万円、短期借入金300百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が48百万円、その他が125百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて235百万円減少し1,751百万円となりました。これは、主として長期借入金が233百万円減少したこと等によるものです。

#### ③純資産

当第2四半期会計期間末における純資産合計は前事業年度末に比べて324百万円増加し10,479百万円となりました。これは、主として利益剰余金が325百万円増加したこと等によるものです。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の業績予想につきましては当第2四半期累計期間の実績を踏まえ、2022年5月13日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。尚、詳細につきましては本日公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,849	1,498
受取手形及び売掛金	1,359	1,595
商品及び製品	94	95
仕掛品	15	17
原材料及び貯蔵品	166	200
その他	362	993
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	3,847	4,400
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,838	7,267
構築物（純額）	352	418
機械及び装置（純額）	1,259	1,712
車両運搬具（純額）	20	22
土地	1,355	1,355
その他（純額）	809	191
有形固定資産合計	10,636	10,967
無形固定資産	77	68
投資その他の資産		
投資有価証券	473	474
関係会社株式	180	—
その他	333	250
投資その他の資産合計	987	724
固定資産合計	11,701	11,761
資産合計	15,549	16,161
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,253	1,568
電子記録債務	263	253
短期借入金	—	300
1年内返済予定の長期借入金	531	483
未払法人税等	170	267
賞与引当金	121	150
役員賞与引当金	34	—
その他	1,032	907
流動負債合計	3,408	3,930
固定負債		
長期借入金	1,597	1,363
退職給付引当金	146	152
役員退職慰労引当金	83	88
資産除去債務	76	76
その他	82	70
固定負債合計	1,986	1,751
負債合計	5,394	5,682

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055	1,055
資本剰余金	754	754
利益剰余金	8,208	8,534
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,017	10,343
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	136	136
評価・換算差額等合計	136	136
純資産合計	10,154	10,479
負債純資産合計	15,549	16,161

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	8,198
売上原価	6,629
売上総利益	1,568
販売費及び一般管理費	949
営業利益	618
営業外収益	
受取配当金	6
仕入割引	13
受取賃貸料	14
その他	9
営業外収益合計	43
営業外費用	
支払利息	2
賃貸費用	4
営業外費用合計	6
経常利益	655
特別利益	
保険解約返戻金	65
受取保険金	21
特別利益合計	87
特別損失	
固定資産除却損	36
その他	1
特別損失合計	38
税引前四半期純利益	704
法人税等	252
四半期純利益	452

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	704
減価償却費	537
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4
受取利息及び受取配当金	△6
支払利息	2
固定資産除却損	36
保険解約返戻金	△65
受取保険金	△21
売上債権の増減額 (△は増加)	△235
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△36
仕入債務の増減額 (△は減少)	304
その他	△589
小計	634
利息及び配当金の受取額	6
利息の支払額	△2
法人税等の支払額	△142
保険金の受取額	21
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>517</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△900
無形固定資産の取得による支出	△10
投資有価証券の取得による支出	△1
保険積立金の解約による収入	65
子会社の清算による収入	178
その他	△79
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△747</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300
長期借入金の返済による支出	△281
リース債務の返済による支出	△11
配当金の支払額	△126
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△120</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△350
現金及び現金同等物の期首残高	1,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,498

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。